

製品名: CD220 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82768**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	156kDa

抗原情報

遺伝子名	CD220
別名	INSR; HHF5
遺伝子 ID	3643.0
SwissProt ID	P06213
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD220 (AA: 余分な 413-624) の精製された組み換え断片。

背景

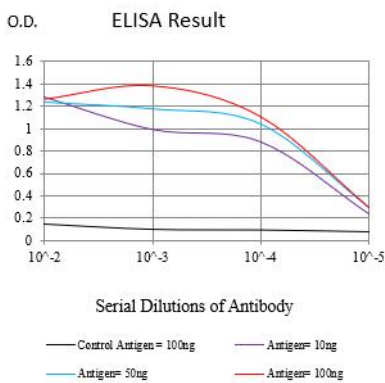
この遺伝子は、受容体チロシンキナーゼファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに分解され、ヘテロ四量体受容体を形成します。インスリンまたは他

のリガンドがこの受容体に結合すると、インスリンシグナル伝達経路が活性化され、グルコースの取り込みと放出、ならびに炭水化物、脂質、タンパク質の合成と貯蔵が制御されます。この遺伝子の変異は、A型インスリン抵抗性症候群、ドノヒュー症候群、ラブソン・メнденホール症候群などの遺伝性重症インスリン抵抗性症候群の根底にあります。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。

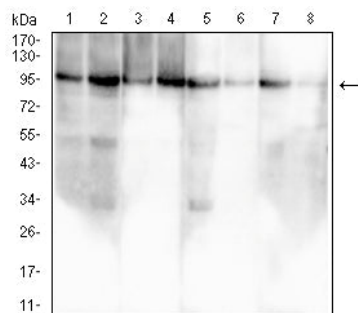
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、Hippo シグナル伝達経路

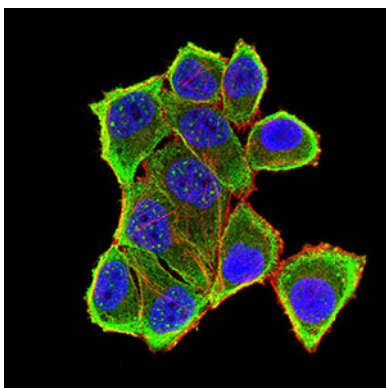
画像データ



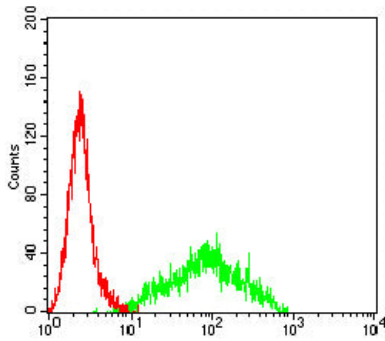
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



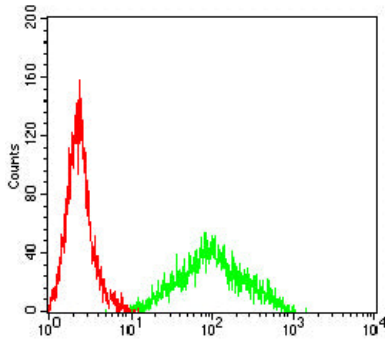
CD220 マウス mAb を用いた HepG2 (1) 、 HEK293 (2) 、 Jurkat (3) 、 Hela (4) 、 THP-1 (5) 、 NIH/3T3 (6) 、 COS7 (7) 、 および PC-3 (8) 細胞溶解物に対するウェスタンブロット解析。



CD220 マウス mAb (緑) を用いた Hela 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD220 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。



CD220 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。